

HIV／エイズに関する情報は…
エイズ相談・検査・支援団体



●インターネットによる情報提供

エイズ予防情報ネット

ホームページ：<https://api-net.jfap.or.jp>



HIV 検査相談マップ

ホームページ：<https://www.mhlw.go.jp/hivkensa/>



国立国際医療センター

エイズ治療・研究開発センター

ホームページ：<https://www.acc.jihs.go.jp>



●電話相談・情報提供

(公財)エイズ予防財団

ホームページ：<https://www.jfap.or.jp>

フリーダイヤル：0120-177-812

携帯電話からは：03-5259-1815

月曜日～金曜日(年末年始・祝祭日を除く) 10時～13時・14時～17時

※全国のほとんどの保健所などでエイズに関する相談やHIV
抗体検査を受け付けています



知ることからはじめよう エイズと性感染症予防

●監修：中原英臣(医学博士)



エイズは誰もがかかる可能性があること、そして世界中で
増え続けていることを知っていますか？

HIVは比較的感染しにくいウイルスといわれていますの
で、正しい知識さえ身につけて行動していれば十分に防
げます。学ぶことからはじめ、自らの手でかけがえのない
命を守りましょう。

富士見市国民健康保険



この冊子は環境に配慮し、
植物油インキを使用しています。

第2版 無断転載・複製禁止 ©(株)現代けんこう出版
p-0706004

HIV・エイズ クイズ

○か×で答えましょう!

どのくらい 知っていますか?

◎ HIVとエイズについて

【Q1】HIVに感染したら必ずエイズが発症する

4~5
ページ

【Q2】HIVは誰にでも感染の恐れがある

6~9
ページ

【Q3】エイズは性行為によって感染する『性感染症』である

10~11
ページ

【Q4】エイズは薬で治せる

12
ページ

◎ 検査について

【Q5】献血でHIV検査が受けられる

13
ページ

【Q6】感染の機会があった日から3カ月以内にHIV検査を受けた方がよい

14~15
ページ

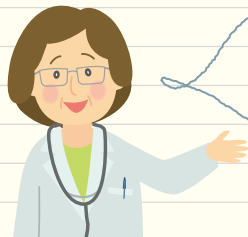
HIVとは ……エイズの原因となるウイルス

ヒト 免疫不全 ウイルス
Human Immunodeficiency Virus の略

エイズ(AIDS)とは

……HIV感染により免疫力が低下しておこる
さまざまな病気の総称

後天性 免疫 不全 症候群
Acquired ImmunoDeficiency Syndrome の略



エイズについて正しく
学びましょう! 次のページから詳しく解説していきますね。

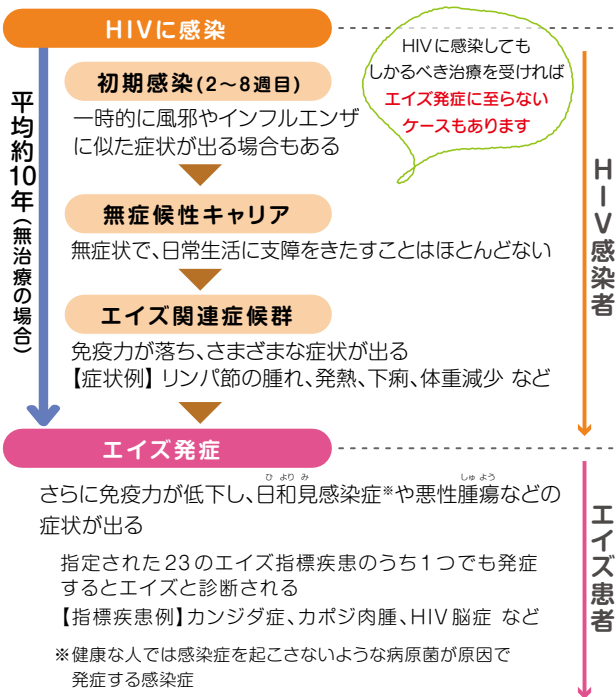
◎ HIVとエイズについて

答えは



Q1.HIVに感染したら必ずエイズが発症する

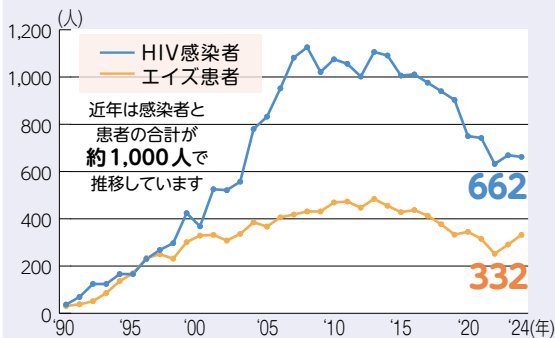
HIV感染からエイズ発症まで



過去の病ではないエイズ

現在、日本の新規HIV感染者とエイズ患者の報告数は**1日約3人**です。

2013年をピークに減少傾向にありましたが、2023年に再び増加に転じており、エイズを発症してから初めてHIV感染が判明する「いきなりエイズ」は報告数の約3割にのぼります。



国内HIV感染者およびエイズ患者数の年次推移(令和6年度)
出典:厚生労働省「エイズ動向委員会報告」

◎HIVとエイズについて

答えは



Q2.HIVは誰にでも感染の恐れがある

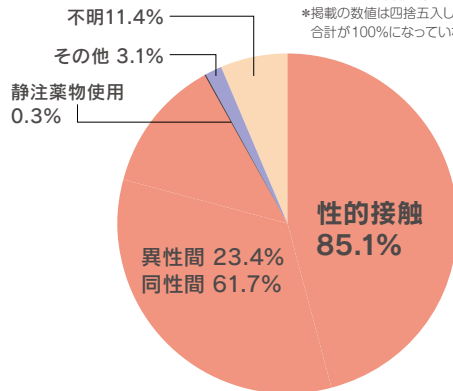
感染経路

- 経路① 性行為による感染
- 経路② 血液を介しての感染
- 経路③ 母親から赤ちゃんへの母子感染

▼HIV感染者の感染経路別累計(令和6年)

出典：厚生労働省「エイズ動向委員会報告」

*掲載の数値は四捨五入してあるため内訳の合計が100%になっていない場合があります。



こんなことでは感染しません



軽いキス



せきやくしゃみ



洋式トイレ



いっしょの食事



銭湯・サウナ



虫さされ

念のため、血液がつきやすいカミソリや歯ブラシ・タオルなどの日用品は人と共用しないようにしましょう。

HIVの正しい予防方法を知っておきましょう

【予防方法】

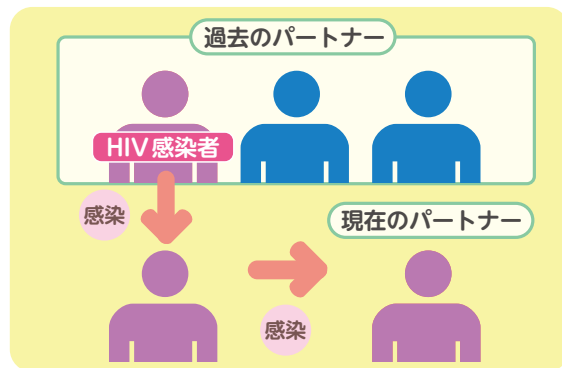
- 予防1 コンドームを正しく使用※する
- 予防2 不特定多数と性行為をしない
- 予防3 出血するような性行為をしない
- 予防4 性器具を共有しない

※口腔性交でも感染の可能性がありますので必ずコンドームを使用しましょう



HIVは感染力が弱いので、性行為以外の日常生活で感染することはまずありません。

しかし、予防をしていなければ**たった1回の性行為でも感染の恐れがある**ことを忘れないでください。たとえ現在パートナーがひとりでも、過去に付き合った人の中にHIV感染者がいれば可能性はゼロではないのです。



◎HIVとエイズについて

答えは

○

Q3. エイズは性行為によって感染する『性感染症』である

エイズはSTI※(性感染症)の一つです

STIに感染すると性器の粘膜が壊れるため、HIVに感染STIには無症状のものや症状が軽いものもありますので、おすすめします。感染したまま治療をせずにいると、女性は慢性前立腺炎などを起こすことがあります。感染した場合は

性により 感染する 病気
※Sexually Transmitted Infections の略

染する確率が高くなります。

性行為をしている人は検査を受けることを不妊症や子宮外妊娠など、男性は尿道炎やパートナーと一緒に治療を受けましょう。



病名	症状	
	男性	女性
性器クラミジア感染症	尿道の軽い炎症、排尿時の軽い痛み、尿道口から透明または白い膿が出る	おりものの増加、下腹部の痛み、排尿時の痛み
淋菌感染症(淋病)	尿道の炎症、排尿時の激しい痛み、尿道口から黄色い膿が出る	おりものの増加、排尿時の痛み
性器ヘルペス感染症	性器に複数の水疱や潰瘍ができる、発熱をとまなう	排尿時の激しい痛み、外陰部に複数の水疱や潰瘍ができる、発熱をとまなう
尖圭コンジローマ	性器や肛門周辺にイボができカリフラワー状になる	
梅毒	第1期：感染後約3週間で感染部位に赤く痛みのないしこりができる	第2期：全身に赤い斑点ができる、発熱、倦怠感、関節痛
	第3期：ゴムのような腫瘍ができる	第4期：臓器に腫瘍ができる、脳神経に重い症状が出る
トリコモナス感染症	ほとんど症状は出ないがまれに尿道炎を起こす	性器部のかゆみ、悪臭をとまなうおりものの増加
B型肝炎	微熱、全身の倦怠感、食欲不振、黄疸などの症	状が出ることもあるが無症状の場合が多い

◎ HIVとエイズについて

Q4. エイズは薬で治せる

答えは

×

いまのところエイズを 完治させる薬はありません

体内のHIVを完全に取り除く薬はありませんが、医療の進歩により発症をおさえる効果的な薬が開発されています。

早期に治療を始めれば、**エイズはコントロール可能な病気**なのです。

重要なことは早期発見・早期治療をすることです。



多剤併用療法
(カクテル療法)

複数の抗HIV薬を組み合わせることで投与する、
現在最も効果的な治療法

◎ 検査について

Q5. 献血でHIV検査が受けられる

答えは

×

検査目的の献血は絶対にやめましょう

採血した血液は、輸血を必要とする方への安全確保のためにHIV検査を行っています。たとえ陽性が確認されたとしても本人に知らされることはありません。感染初期の血液は陰性と判断されますので**献血をした人がHIVに感染していた場合、輸血によって感染を広げてしまう恐れがあります。**

～エイズノイローゼが増えています～

エイズノイローゼとは…

エイズに関することで、日常生活に支障が出てしまうほどの精神状態になることです。



心当たりがある方はエイズノイローゼかもしれません。
ひとりで悩まずに、保健所やエイズカウンセリングを行っている病院などに相談しましょう。

◎ 検査について

Q6. 感染の機会があった日から3カ月以内 にHIV検査を受けた方がよい

答えは
X

検査の流れ(通常検査)

感染後1カ月ほどで抗体が検出されますが、個人差がありますので**感染の機会があった日から3カ月以上あと**に受けましょう。

保健所※に電話

検査日時を確認をし、
予約をする

採血

カウンセリングをし、
5ccほどの血液を採る

検査結果

1~2週間後
本人が直接聞きに行く

無料・匿名で
受けられます

検査は名前の代わりに
番号で行われます



※医療機関でも受けられますが、その際は有料となり
名前や住所を知らせる必要があります

即日検査について

検査当日に結果が分かる「即日検査」を行っている
保健所などもあります。ただし検査の結果が陰性
の場合に限ります。

※即日検査では、100人に約1人の割合で感染していないにも関わらず陽性の反応が出ること(偽陽性)があることから、陽性の反応が出た場合は、「要確認検査」が必要となります。1週間~2週間後に結果を聞きに行き、それでも陽性の場合はHIV感染が確定します。

全国HIV/エイズ検査・相談窓口情報サイト

ホームページURL : <https://www.mhlw.go.jp/hivkensa/>

全国ほとんどの保健所などで無料・匿名で
HIV検査と相談を受け付けています。

